

医師、歯科医師、薬剤師、コメディカル・コデンタルのみなさまへ

兵庫県保険医協会尼崎支部 医科歯科連携研究会のご案内

# 医科歯科連携の充実の意義

## ～薬剤関連顎骨壊死を例に～

日時 9月28日(土)15時30分～17時

会場 尼崎商工会議所702号室

(阪神尼崎駅徒歩5分 尼崎市昭和通3-96 TEL06-6411-2251)

講師 兵庫医科大学病院歯科口腔外科診療部長・主任教授

岸本 裕充 先生

参加費 無料

歯周病が、糖尿病や関節リウマチ、アルツハイマー病などに関連するという報告が増え、医科歯科連携が注目されている。歯周病とともに口腔の2大疾患であるう蝕も、進行して骨内に根尖病変を生じると、血流を介して全身に影響を及ぼす。

骨粗鬆症治療薬のうち骨吸収抑制作用を有するビスホスホネートとデノスマブは、根尖病変や歯周病による顎骨への炎症が持続すると、顎骨壊死を生じるリスクがあることが明らかとなってきた。歯性感染症による炎症を制御するための抗菌薬の使用法や抜歯などの歯科処置について、医科と歯科が共通認識を持って連携する必要性が高まっている。薬剤関連顎骨壊死のポジションペーパー2023の内容の要点の解説を中心に、連携におけるヒントを提供したい。(岸本 記)

上記の通り医科歯科連携研究会を開催します。

医師、歯科医師、薬剤師、コメディカル・コデンタルのみなさまのご参加をお待ちしております。

(支部長 綿谷茂樹、幹事 阿部勝也)

お問い合わせは協会事務局 沖野・石本・林まで(TEL078-393-1805)

保険医協会尼崎支部 医科歯科連携研究会(9/28)に参加します  
(返信 FAX:078-393-1802)

医療機関名・薬局名( ) 電話番号( )  
お名前( ) 職種( )  
お名前( ) 職種( )

兵庫県保険医協会

# 尼崎支部ニュース

443号

2024年8月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 尼崎支部  
TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

## 第53回支部総会を開催

### 仏教・医療から考える “生きづらさ”の支えかた



司会の綿谷茂樹支部長(写真左)・露の団姫さん(写真中央) 岡本真吾先生(写真右)との対談

総会議事には7人が参加(写真左下)

尼崎支部は7月27日、尼崎商工会議所で、第53回支部総会を開催。議事では、2023年度活動報告と2024年度活動方針案を承認した(活動方針は2面に掲載)。

市民公開寄席特別企画では、露の団姫さんの落語鑑賞の後、精神科医の岡本真吾先生と団姫さんがそれぞれ講演し、会員、市民ら40人が参加した。

僧侶として悩みを抱える方の相談活動や、自殺防止の発信をしている団姫さんは高校時代に鬱になった経験にふれ、「自分ではぜんぜん鬱になっていると分からなかった。鬱だと分かったのは、先生に『大丈夫か、死にそうな顔だぞ』と指摘されてから。それから最近笑っていない、心臓が痛いなどということに気づいた。医者に診てもらおうと心臓の痛みはストレスからくるものだと言われ、そこで初めて鬱だと分かった」と話した。

メンタルヘルス向上を目指した幅広い活動を活かした診療に取り組んでいる岡本真吾先生は

(2面につづく)

(1面のつづき)

「メンタルヘルスの不調は誰にでも起こりえるという認識が高まり、初期のうちに自分も精神的に不調であると言いやすくなった。病の早期発見が大事なのは精神の分野でも同じで、早めに発見できないと、最初のきっかけとなった問題があいまいになり、治療が行いにくくなる」と語った。

講演の最後には現代社会で起きてくる“生きづらさ”とその支え方について対談し「近くの人には鬱になっていることに気づきにくく第三者の方が気づきやすい」、「その人が満足する時間分の睡眠をとり、食欲はほどよく、胃腸がリラックスしていれば腸のサイクルがよくなりお通じが良くなるため、“快眠・快食・快便”が心と体の健康につながる」とした。参加者の感想は次号掲載予定。

【参加者アンケートに寄せられた声】

■楽しい企画でした。お二人（岡本先生・露の団姫さん）が自分のしんどかったこと、辛かったことも話してくださってとても心にしみました。まずは自分が幸せであることを大事に、というのはそのとおりでと思いました。

■岡本先生のお話、わかりやすかったです。コミュニティの場は必要だと思います。「慈悲」「正見」など、団姫さんのお話は楽しくお聞きできました。元気になりました。ありがとうございました。



落語に聞き入る会場の様子

兵庫県保険医協会尼崎支部 2024 年度活動方針

- 1、経営対策など新規開業医を対象とした懇談会などの開催で、支部幹事会への新規開業医の参加を図るとともに、勤務医会員の拡大にも力を入れ支部活動への参加を促し、幹事会を一層活性化していく。
- 2、地域医療・介護を支える現場スタッフの力量向上を目指して、「医療と福祉を考える会」を開催する。
- 3、在宅診療や介護保険に関する研究会、保険請求事務講習会などを企画する。
- 4、医師、歯科医師をはじめ、薬剤師・職員も参加対象とした医科歯科連携に役立つ研究会を企画する。
- 5、住民の要望に基づき健康教室や健康と医療について語り合う会を開催する。
- 6、会員や職員対象の医療安全管理対策研修会や職員接遇研修会などを企画する。
- 7、尼崎市の医療と福祉を充実させる運動に引き続き取り組む。医療や福祉・介護保険等の改善、充実を求める尼崎社保協や民主市政の会など支部加盟団体の活動に積極的に参加する。
- 8、「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」に参加し、被害者救済と企業・国の責任追及に取り組む。
- 9、会員間の交流を深める文化行事を企画する。
- 10、支部ニュースの定期発行に努める。
- 11、幹事会は、より多くの幹事が出席しやすいように工夫して開催する。

第105回・医療と福祉を考える会・感想文

医療介護連携のキッカケをつかんだ学習会

尼崎支部は6月27日、第105回医療と福祉を考える会を開催（前号既報）。「医療・看護・介護にかかわるすべての人に知ってもらいたい、知っているようで知らない介護ベッドの選び方と使い方」をテーマに、会員、医療機関・介護施設職員ら43人が参加した。参加者の感想文を紹介する。



スペースワンダー実演の様子(写真左)  
マルチポジションベッド(写真右・左側)  
フロアベッド(写真右・右側)

まず初めに、会場提供者である

アマルネス・ガーデンの機能訓練指導員である瀬部氏からの機能訓練機器“スペースワンダー”の説明を受けました。身体を吊り下げる形で転倒リスクを排除した自重訓練を行う機器であり、従前では転倒リスクを考慮した訓練しか行えなかった利用者でも、自重をしっかりとかけた負荷の高い運動を行うことができるというリハビリ目線で効果の高いものを提供できる機器でした。但し、高負荷の訓練であるため、介護だけではなく制限や負荷の程度など主治医（医療）との連携が必須となっており、取り扱いには十分な注意が必要であると感じました。その反面、在宅介護における医療介護連携のキッカケにもなりうるのではと感じることができました。

次に最新介護用ベッドの講演では座位ポジションまで自動で行うマルチポジションベッドと滑落防止の低床ベッドの紹介を受け実際に介護の現場でも用いられる実物を見て体感することができました。マルチポジションベッドでは、重度介護であっても介護者の負荷を限りなく軽減し座位姿勢までを自動で行い介護負担軽減では大きな役割をもつと考えることができ、低床ベッドに関しては滑落予防とともに寄り添い介護としてもとても良いものであると感じることが出来ました。

今回の勉強会は介護の機器やベッドの紹介であり、介護職が多く参加していましたが、医師からの質問を聞く事ができ介護とは異なる視点を知ることが出来ました。介護と医療は連携が必要で今後もこのような勉強会を開催していただけると幸いです。【介護職 白田達郎】

＜尼崎社会保障推進協議会 2024 年定期総会講演会のご案内＞

日 時：9月21日(土) 場 所：尼崎市中小企業センター 401 会議室  
記念講演：14：40～16：00

「国保料の全県統一と保険証廃止で、国保はどうなる？」

講師：大阪社保協事務局長 寺内順子さん

どなたでもご参加いただけます。先生だけでなく、スタッフ、患者のみなさまのご参加もお待ちしております。お問い合わせは、担当事務局 石本・沖野・林 TEL 078-393-1809 まで